



平成29年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 大倉工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4221 URL <http://www.okr-ind.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高浜 和則

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートセンター経理部長 (氏名) 長尾 誠司

TEL 0877-56-1111

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	43,393	1.9	3,122	47.1	3,157	56.1	2,152	51.3
28年12月期第2四半期	42,568	1.6	2,122	79.6	2,023	78.4	1,422	89.0

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 2,960百万円 (%) 28年12月期第2四半期 25百万円 (98.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	36.11	
28年12月期第2四半期	23.85	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	83,082	42,773	51.5
28年12月期	82,434	40,414	49.0

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 42,764百万円 28年12月期 40,407百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		0.00		10.00	10.00
29年12月期		0.00			
29年12月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,000	2.2	5,100	8.3	5,100	9.6	2,650	5.7	44.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期2Q	62,074,351 株	28年12月期	62,074,351 株
期末自己株式数	29年12月期2Q	2,463,969 株	28年12月期	2,454,547 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期2Q	59,615,314 株	28年12月期2Q	59,633,018 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】2ページ「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧米政治情勢等の海外動向に不透明感はあるものの、海外経済の改善に伴う輸出の増加や底堅い個人消費の下支えにより、景気は緩やかな回復を続けてまいりました。

このような状況のもと、当社グループでは、地道な販売活動に努めた結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は433億9千3百万円と前年同四半期比1.9%の増収となりました。

利益面では、増収に加えて新規材料事業における新工場の損益改善などにより、営業利益は31億2千2百万円（前年同四半期比47.1%増）、経常利益は31億5千7百万円（前年同四半期比56.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は21億5千2百万円（前年同四半期比51.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

〔合成樹脂事業〕

産業資材用フィルムや農業向けマルチフィルムを中心に販売数量が増加したため、売上高は245億4千4百万円（前年同四半期比1.9%増）となりました。一方、営業利益は当期首より上昇している原材料価格が第1四半期連結会計期間ではまだ前年同四半期を下回っていたものの、当第2四半期連結会計期間では一転して前年同四半期を上回って推移したことなどにより、23億8百万円（前年同四半期比1.6%減）となりました。

〔新規材料事業〕

大型液晶パネルの需要増加に伴い、光学フィルムの販売数量が増加したことで、売上高は116億8千万円（前年同四半期比1.2%増）となりました。営業利益は販売数量の増加に加えて、新工場の生産性が大幅に改善したことなどにより、12億2千6百万円（前年同四半期比369.7%増）となりました。

〔建材事業〕

パーティクルボードの販売数量がフロア関連向けに伸びたことにより、売上高は41億6千8百万円（前年同四半期比4.5%増）となりました。営業利益は、不採算製品の見直しおよび減価償却費などの固定費の削減により1億1千6百万円（前年同四半期比287.8%増）となりました。

〔その他〕

木材加工（プレカット）事業等の受注が好調であったことにより、売上高は30億円（前年同四半期比1.6%増）となりました。営業利益は販売数量の増加により3億2千7百万円（前年同四半期比10.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6億4千8百万円増加し、830億8千2百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金など流動資産の減少2億5千4百万円、投資有価証券の増加11億4千8百万円など固定資産の増加9億2百万円によるものであります。

一方、負債につきましては、長期借入金の減少10億3千7百万円、未払法人税等の減少5億1千4百万円などにより、前連結会計年度末に比べ17億1千万円減少し、403億9百万円となりました。

また、純資産は、利益剰余金の増加15億5千6百万円、その他有価証券評価差額金の増加8億2百万円などにより、前連結会計年度末に比べ23億5千8百万円増加し、427億7千3百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて2.5ポイント上昇し、51.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ7億7千7百万円減少し、66億9千5百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は31億円（前年同四半期は32億5千8百万円の増加）となりました。

これは、主として税金等調整前四半期純利益30億2千4百万円、減価償却費18億3千1百万円による資金の増加と、法人税等の支払額12億8千7百万円による資金の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は22億4千7百万円（前年同四半期は9億1千4百万円の減少）となりました。

これは、主として合成樹脂事業における製造設備などの有形固定資産の取得による資金の減少によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は16億2千6百万円（前年同四半期は25億8千8百万円の減少）となりました。

これは、主として借入金の返済10億1千7百万円、配当金の支払額5億9千2百万円による資金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年7月28日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,473	6,695
受取手形及び売掛金	23,955	23,593
電子記録債権	2,409	2,575
商品及び製品	4,041	4,264
仕掛品	842	855
原材料及び貯蔵品	3,016	3,488
販売用不動産	98	168
繰延税金資産	205	96
その他	415	466
貸倒引当金	△21	△21
流動資産合計	42,437	42,183
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,041	15,863
機械装置及び運搬具（純額）	6,564	6,399
土地	6,472	6,493
建設仮勘定	1,100	1,345
その他（純額）	407	516
有形固定資産合計	30,586	30,618
無形固定資産	281	329
投資その他の資産		
投資有価証券	8,099	9,247
繰延税金資産	407	83
その他	695	685
貸倒引当金	△72	△65
投資その他の資産合計	9,129	9,951
固定資産合計	39,997	40,899
資産合計	82,434	83,082

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,176	15,420
短期借入金	4,934	4,970
1年内返済予定の長期借入金	2,894	2,872
リース債務	17	7
未払法人税等	1,200	685
設備関係支払手形	41	14
その他	7,167	6,789
流動負債合計	31,432	30,761
固定負債		
長期借入金	5,609	4,571
リース債務	2	1
繰延税金負債	18	40
退職給付に係る負債	3,960	3,983
その他	996	952
固定負債合計	10,587	9,548
負債合計	42,020	40,309
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,619	8,619
資本剰余金	9,068	9,068
利益剰余金	21,194	22,750
自己株式	△839	△844
株主資本合計	38,042	39,594
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,460	3,263
為替換算調整勘定	170	169
退職給付に係る調整累計額	△267	△262
その他の包括利益累計額合計	2,364	3,170
非支配株主持分	7	8
純資産合計	40,414	42,773
負債純資産合計	82,434	83,082

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	42,568	43,393
売上原価	35,938	35,686
売上総利益	6,630	7,707
販売費及び一般管理費		
販売手数料	95	75
運送費及び保管費	1,368	1,434
給料	1,005	989
賞与	292	318
役員報酬	137	132
退職給付費用	62	56
減価償却費	86	85
研究開発費	443	439
貸倒引当金繰入額	△0	1
その他	1,015	1,051
販売費及び一般管理費合計	4,507	4,585
営業利益	2,122	3,122
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	72	80
雑収入	78	60
営業外収益合計	151	142
営業外費用		
支払利息	104	73
為替差損	113	11
雑損失	33	22
営業外費用合計	251	106
経常利益	2,023	3,157
特別損失		
固定資産除売却損	166	133
投資有価証券評価損	0	—
特別退職金	8	—
特別損失合計	175	133
税金等調整前四半期純利益	1,847	3,024
法人税、住民税及び事業税	559	757
法人税等調整額	△133	112
法人税等合計	426	870
四半期純利益	1,421	2,154
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,422	2,152

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	1,421	2,154
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,387	802
為替換算調整勘定	△19	△1
退職給付に係る調整額	11	4
その他の包括利益合計	△1,395	806
四半期包括利益	25	2,960
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27	2,958
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,847	3,024
減価償却費	2,077	1,831
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△8
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	46	22
受取利息及び受取配当金	△73	△81
支払利息	104	73
為替差損益(△は益)	101	3
投資有価証券評価損益(△は益)	0	—
固定資産除売却損益(△は益)	162	110
売上債権の増減額(△は増加)	1,926	194
たな卸資産の増減額(△は増加)	336	△778
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,473	245
その他	△96	△255
小計	3,960	4,382
利息及び配当金の受取額	73	81
利息の支払額	△106	△75
法人税等の支払額	△668	△1,287
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,258	3,100
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△916	△2,170
有形固定資産の売却による収入	0	2
補助金の受入による収入	3	17
投資有価証券の取得による支出	△4	△5
貸付金の回収による収入	2	2
その他	0	△93
投資活動によるキャッシュ・フロー	△914	△2,247
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,930	40
長期借入れによる収入	1,800	490
長期借入金の返済による支出	△1,640	△1,547
リース債務の返済による支出	△373	△11
自己株式の取得による支出	△1	△5
配当金の支払額	△443	△592
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,588	△1,626
現金及び現金同等物に係る換算差額	△76	△4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△321	△777
現金及び現金同等物の期首残高	7,385	7,473
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,063	6,695

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	合成樹脂 事業	新規材料 事業	建材事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	24,085	11,539	3,990	39,614	2,954	42,568	—	42,568
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	—	—	2	247	250	△250	—
計	24,087	11,539	3,990	39,616	3,201	42,818	△250	42,568
セグメント利益	2,345	261	29	2,636	298	2,934	△811	2,122

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業、木材加工事業、宅地造成及び建物建築事業、情報処理システム開発事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△811百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△811百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	合成樹脂 事業	新規材料 事業	建材事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	24,544	11,680	4,168	40,393	3,000	43,393	—	43,393
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	—	—	2	263	265	△265	—
計	24,546	11,680	4,168	40,395	3,263	43,659	△265	43,393
セグメント利益	2,308	1,226	116	3,650	327	3,978	△855	3,122

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業、木材加工事業、宅地造成及び建物建築事業、情報処理システム開発事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△855百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△855百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。